

大同大学 上岡ゼミ 荒川班 愛知クオリティPR動画

制作

監督: 荒川純也(上岡研究室)

制作: 柴田智成(上岡研究室)

総指揮: 上岡和弘

協力

制作: 鈴木康生(杉本研究室)

カメラ: 石原拓実(杉本研究室) カメアシ: 堀田裕太(杉本研究室)

音声: 志賀大輝(杉本研究室) 照明: 高木伶(杉本研究室)

ナレーション: 中村梨奈(杉本研究室)

制作補助: 福井通生(杉本研究室)

BGM: 金子昌裕(小高研究室)

企業紹介：鬼頭精器製作所

我社は業界を先導する確かな加工技術で、高精度、難加工要求品のミクロンオーダーにお応えし、既に工作機械メーカーへは、回転工具スピンドルミーリングユニットを開発し100%提供しております。今後は時代の流れ、市場の動きを掴みながら、航空宇宙、産業機械、ロボット(医療、介護)、エネルギー環境、自動車産業、防衛省関連分野での市場を把握し、顧客の要望に満足して頂ける製品を当社の技能集団が一致団結して提供いたします。
(愛知クオリティ愛知ブランド企業から抜粋)



訴求ポイント

私が鬼頭精器製作所のPR動画製作にあたっての訴求ポイントは、「人」です。

機械は日々性能を上げていますが、その機械の最大限可能性を引き出すことができるは人だと思います。いくら機械が凄くても、その機械を知り、操ることができないと意味がありません。このことから人も日々機械に負けずと知識と経験を積んで成長をしていき、経済が発展していくのだと私は思います。

コンセプト

鬼頭精器製作所では一人一人が「俺は国家技能検定1級技能士になる！」という熱意に溢れており、工場内で働く社員の人たちの真剣の眼差しの元、機械を操るその姿は「職人」そのものでした。

そんな職人達の日をPR動画の人間篇というコンセプトとしてみました。

1.～はじまり(20")～

映像	概要	ナレーション・BGM	時間
	<p style="text-align: center;">技能士の背中～作業風景</p> <p>1:工作機械を操作している作業員(後)</p>	<p>金属の切削・研削加工を主に行っている金属加工会社鬼頭精器製作所は、金属加工の中でも難しい加工に、積極的に挑戦しています。</p>	4"
	<p>2:工作機械を操作している作業員(前)</p>		2"
	<p>3:作業員のすばやい手の動き映す</p>		2"
	<p>4:作業員の真剣な眼差し</p>		2"
	<p style="text-align: center;">各種製品(单品)/(複数)</p> <p>5:製品单品をハイアングルから見下ろすように映す</p>		5"
	<p>6:製品複数をハイアングルから見下ろすように映す</p>		5"

2.～従業員の高難度・高精度加工に挑戦し続ける矜持(心に抱いていること)(15")その1～

映像	概要	インタビュー・BGM	時間
 <p>鬼頭 明孝</p>	<p>矜持</p> <p>1:鬼頭社長へのインタビュー</p>	<p>インタビュー・BGM</p> <p>「我が社では高難度・高精度加工に挑戦する事によって、若い技術者でも容易に高難度加工ができるようになる人材育成に力を入れています。」 (仮)</p>	5"
 <p>作業者全員が国家技能検定1級技能士を目指し。</p>	<p>2:先輩作業員が若い作業員に 教えている様子</p>		3"
 <p>鬼頭 明孝</p> <p>高精度・高難度加工に挑戦し続ける矜持</p>	<p>3:若手作業員を映し、 ソロで作業している</p>		4"
 <p>鬼頭 明孝</p>	<p>4:社長のインタビュー</p>		3"

3.～従業員の高難度・高精度加工に挑戦し続ける矜持(心に抱いてること)(20")その2～

映像	概要	ナレーション・BGM	時間
 <p>五軸加工機</p>	<p>技術者／工作機械 1:各種設備の紹介</p>	<p>鬼頭精器製作所では、マシニングセンタや五面加工機など、充実した工作機械設備もさることながら、会社全体が一丸となって、国家技能検定一級技能士を目指し、その技術者達の確かな腕によって、お客様の幅広いニーズに対応しています</p>	10"
	<p>2:一級技能士合格の垂れ幕</p>		4"
	<p>3: 技術継承の様子</p>		3"
	<p>4:真剣な作業風景、</p>		3"

4.～従業員の高難度・高精度加工に挑戦し続ける矜持(心に抱いていること)(15")その3～

映像	概要	ナレーション・BGM	時間
	<p style="text-align: center;">独自開発の製品 1:超精密MU使用映像</p>	<p style="color: purple;">その技術力は従来のミーリングユニットの性能を向上させた、超精密ミーリングユニットの独自開発にも成功しています。</p>	3"
	<p style="text-align: center;">2:超精密MUに取り付けた 刃が回転している</p>		3"
	<p style="text-align: center;">3:超精密MU単品と</p>		4"
	<p style="text-align: center;">新しい挑戦 1:ロケット、防衛省部品の加工風景の映像</p>	<p style="color: purple;">新しい挑戦として宇宙航空・防衛省部品の分野にも進出しています。</p>	3"
	<p style="text-align: center;">2:部品試作を協議している様子</p>		3"

5.～最後に(20")～

映像	概要	ナレーション・BGM	時間
	2:学生インターンシップの写真	<p>その他にも、 技能士育成のスキルアップ研修 学生インターンシップの活動、合同口 ボット研究なども取り組んでおります。 鬼頭精器製作所はこれからも、変わり続 ける顧客ニーズに対し、日々磨き上げら れていく技術者達の腕と工作機械の可能 性をもって応えていきます。</p>	3"
	3:合同ロボット研究に関する写真		4"
	4:工場内全景		5"
	5:鬼頭精器製作所の外の踊り場に 従業員集合		6"

まとめ

荒川: 私はこの1年のゼミを通じて、多くの経験を積みました。社会に進出した社会人を雇いビジネスをしている本物の企業との電話やメールのやり取りや取材にて得た情報を元に、考えあぐねていた企画案を企業の社長に発表するといった経験は、とても新鮮に感じ、とても有意義でありました。

愛知県産業振興課と上岡ゼミと愛知ブランド企業がこれからも協力していき、他の大学でも愛知クオリティPR動画製作活動の輪が広がっていき、より多くの学生がこの経験をし、将来に役立てていけたらと思います。

柴田: 企業の方のお話を聴ける機会が多く、強みだけではなく、弱みや、悩みも聴けたことは貴重な経験でした。そのことがあり、そこから企画を立てやすかったです。これらを通じて働くことがどういうことかを教えていただきました。